

南四国における縄文から弥生—高知県居徳遺跡群—

曾我貴行

高知県立埋蔵文化財センター
〒783-0006 高知県南国市篠原1437-1
Tel.088-864-0671 Fax.088-864-1423

遺跡と調査の概要

居徳遺跡群は太平洋に面した高知平野の西端部、土佐市高岡町に所在する低湿地遺跡である。一級河川仁淀川の西岸に位置し、山裾部に近い沖積平野に立地する。現地表は標高8～9mであり、現在の仁淀川河口からは、およそ8km遡上した位置にある。高速道路建設に伴う緊急発掘調査として、1997・1998年の2か年にわたり、25,673㎡の範囲について調査を実施した。縄文時代から中世にわたる複合遺跡で、各時代の遺構検出面や遺物包含層が重層的に堆積している。

本遺跡における人々の生活痕跡や遺物の出土は、遺跡の北～西方の山塊から派生した侵食残丘周辺に顕著である。本次の調査範囲内においては、既に削平された4つの侵食残丘基底部を確認している。残丘基底部から低地域へと下る斜面部分には、非常に高密度の遺物包含層が形成されており、このことは、本来丘陵上には各時代の集落が形成されていたことを推察させる。また、遺跡の大半を占める斜面部分や低地域は、厚さ2m以上のシルト層や粘性土層によって覆われ、その内部には潤沢な地下水を保持したままの旧表土層などが密封されていた。これら低湿地環境の恩恵により、漆製品、木製品、動植物遺存体などの有機質遺物が良好かつ豊富に出土したことは、本遺跡の大きな特徴といえる。

本遺跡の調査成果は縄文時代から中世にわたるものであるが、中でも縄文時代晩期～弥生時代前期にかけての時期の資料は、質・量ともに高知県ではかつてない画期的な規模のものであり、きわめて興味深い成果が得られている。

縄文時代晩期中葉～後葉初頭の様相

4C区・旧河道跡からの出土資料がこの時期に該当する。弥生時代化への胎動期の様相を示しており、中国製の可能性が指摘されている木胎漆器や、農耕の存在にかかわる木製鍬の出土が、それを物語る。木胎漆器は文様の特徵等から、東北地方の亀ヶ岡文化との関連も推察されており、東日本地域との交流を示す可能性がある。弥生文化を構成する大陸系の文化要素の到達と、広範囲な交流圏の存在が、この時期の特徴である。

縄文時代晩期後半の様相

4D区・廃棄物堆積層からの出土資料がこの時期に該当する。動物骨に関する環境考古学的分析により、イノシシの解体手法、イヌを食用とする食習慣、骨角器などの弥生文化的様相の存在が明らかになっている。動物骨に混じって出土した15点の人骨には、矢の貫通痕や、鋭利な道具による創傷痕、刺突痕など的人為的損傷が多く認められ、大腿骨9点という部位の偏りもきわめて異例である。集団的な戦闘行為との因果関係と併せて、損傷に金属器が使用された可能性も注目されている資料である。一方、土偶の出土により東日本地域との交流も保持されていたことが分っている。弥生文化的な諸様相の着実な浸透と、東日本地域との交流が併存していたのが、この時期の特徴といえる。

縄文時代晩期末～弥生時代前期前半の様相

1C区・遺物包含層からの出土資料ほかがこの時期に該当する。継起的に進行した弥生文化的要素の浸透・蓄積の結果、弥生土器の出現によって弥生時代化が完成された段階である。縄文時代晩期の突帯文土器と弥生時代前期の弥生土器とは共存状態にあり、その移行期における土器様相変遷の具体相が表われている。この様相は高知県西南部の中村市・入田遺跡に共通するが、高知県中央部では初例である。従来、高知県中央部の様相を代表してきた高知平野東部の南国市・田村遺跡群では、前期初頭の弥生土器に縄文晩期の突帯文土器は全く伴っていないことから、高知平野の西部と東部では、それぞれ異なる状況下で、弥生時代化が果たされていたことが分った。その一方、東北地方からの大洞式土器の搬入や、西日本地域にはきわめて珍しい石冠の出土は、東日本地域の縄文土器文化との交流の継続を示している。東日本地域との交流関係を維持したまま、弥生時代化が完遂されたことがこの時期の特徴である。

南四国における縄文から弥生

居徳遺跡群における弥生時代化の動きは、現在判明している限りでは、縄文時代晩期中葉に始まっている。弥生文化を構成する個別の大陸系文化要素は継続的に到来し、着実に根を下ろす一方で、東日本地域との交流関係は維持され、その後、弥生時代前期前半まで途絶えない。このことが、この遺跡における縄文・弥生移行期の最大の特徴である。同時期の高知平野において、対極的な存在感を示す居徳遺跡群と田村遺跡群とを生み出した背景には、そうした東日本地域との関係性の問題が大きく関わっている可能性がある。今後、両遺跡に関するさまざまな対比的検討が、南四国における弥生文化成立期の様相解明には欠かせないであろう。

居徳遺跡群出土資料の年代測定

縄文時代晩期中葉～後葉初頭の4C区・旧河道跡出土の木製鍬1点については、 ^{14}C 年代測定法によって、 $790 \pm 15 \sim 25$ 年cal BCの年代が得られている。

縄文時代晩期後半の4D区・廃棄物堆積層出土の人骨1点については、ゼラチンコラーゲンが採取でき、AMS年代測定法によりCal BP 3210-3080年の年代が得られた。コラーゲンの残り具合がよくないことから、注意して取り扱うべきデータだとされるが、興味深い成果である。

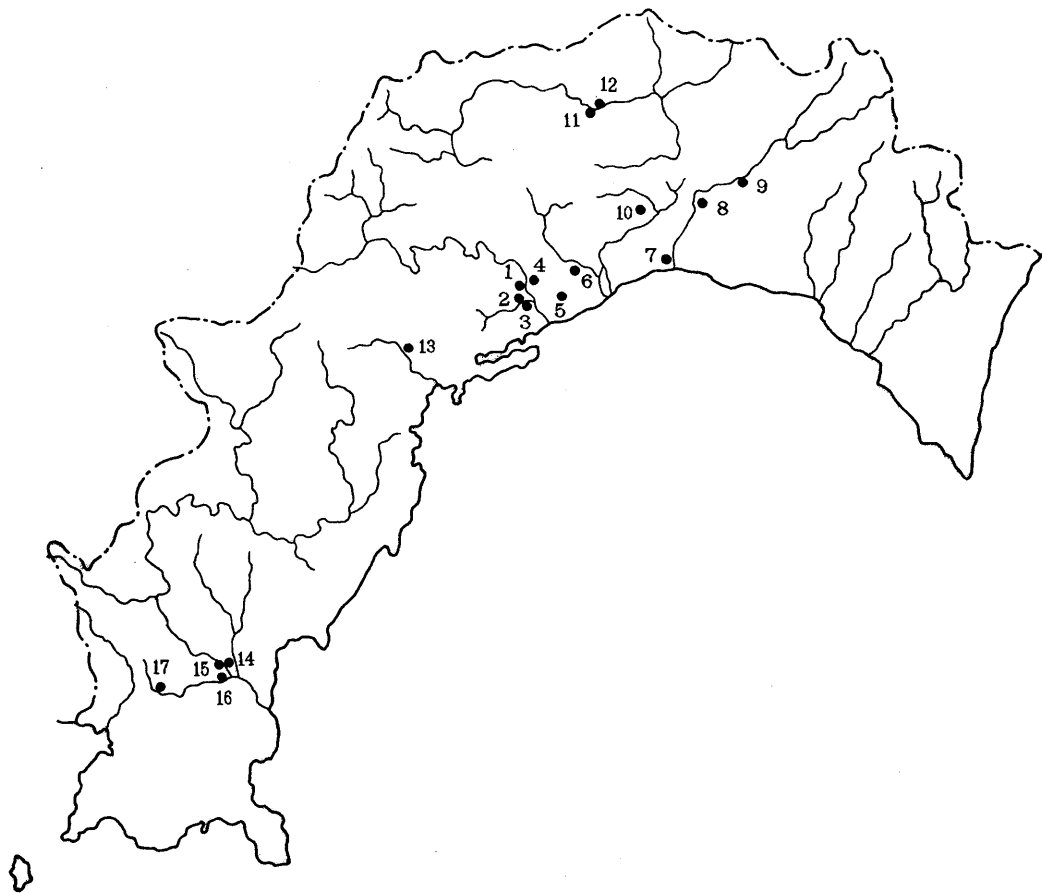
謝辞

本遺跡出土の人骨・動物骨の鑑定・分析については、奈良文化財研究所の松井章先生、九州大学大学院の中橋孝博先生に格別のお力添えをいただいております。AMS年代測定については、名古屋大学年代測定総合研究センターの中村俊夫先生に多大なご協力をいただいております。また、英文要旨の作成においては、高知県立埋蔵文化財センターの前田光雄氏のご協力をいただきました。文末とはなりましたが、記して衷心より謝意を表します。

引用・参考文献

- 岡本健児（1980）土佐市倉岡遺跡出土の土器群一『土佐市史』補遺一。土佐史談，152
- 岡本健児（1983）土佐考古学の諸問題。高知の研究，第1巻
- 岡本孝之（1998）近畿の白河型石器とその考古学的意義。列島の考古学―渡辺誠先生還暦記念論集―
- 小林達雄（1985）縄文文化の終焉。日本史の黎明―八幡一郎先生頌寿記念考古学論集―

- 高知県立埋蔵文化財センター・高知県立歴史民俗資料館（2002）展示資料居徳人骨―殺傷痕・損傷痕を有する人骨の出土―
- 高知県立歴史民俗資料館（2001）開館10周年関連企画展居徳遺跡
- （財）高知県文化財団埋蔵文化財センター（1995）栄工田遺跡
- （財）高知県文化財団埋蔵文化財センター（1998）居徳遺跡群Ⅳ―平成10年度現地説明会資料(2)―
- （財）高知県文化財団埋蔵文化財センター（2001）居徳遺跡群Ⅰ
- （財）高知県文化財団埋蔵文化財センター（2002）居徳遺跡群Ⅲ
- 設楽博己（2000）縄文晩期の東西交渉．突帯文と遠賀川―土器持寄会論文集―
- 曾我貴行・佐竹寛（2000）四国の低湿地遺跡―居徳遺跡群の諸様相―．季刊考古学，73
- 曾我貴行（2002）高知県土佐市・居徳遺跡群―人為的損傷痕を有する縄文時代晩期の人骨―．考古学ジャーナル，No.493
- 曾我貴行（2002）南四国における縄文から弥生―高知県居徳遺跡群の調査成果から―．月刊文化財，No.470
- 出原恵三（1999）高知県土佐市居徳遺跡群―縄文時代晩期の木胎漆器と鍬―．考古学ジャーナル，No.444
- 松井章・曾我貴行・中橋孝博（2002）高知県居徳遺跡群出土の人骨にみられる人為的損傷．日本文化財科学会第19回大会研究発表要旨集



1	居徳	6	柳田	11	八反坪	16	具同中山
2	北高田	7	田村	12	松ノ木	17	ツグロ橋下
3	倉岡	8	林田シタノチ	13	姫野々上町		
4	八田神母谷	9	美良布	14	中村貝塚		
5	山根	10	栄工田	15	入田		

図・表1 南四国・縄文時代晩期～弥生時代前期の代表的な遺跡

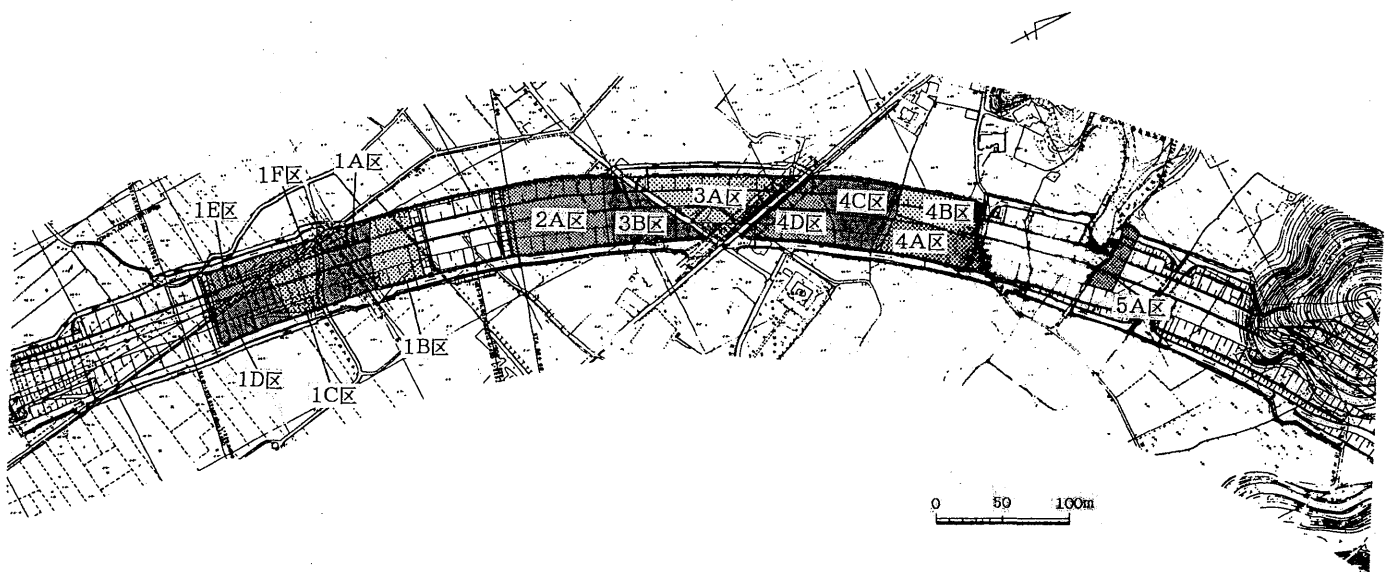


図2 居徳遺跡群調査区配置図

Cultural Aspects of Jomon – Yayoi periods in the southern Shikoku
District, Japan

Takayuki Soga

Kochi Archaeological Research Center, 1437-1, Shinohara, Nankoku, Kochi 783-0006
JAPAN

International Phone; +81 88 864 0671 International Fax; +81 88 864 1423

Radiocarbon dating of the artifacts excavated from the Itoku Sites

A wooden hoe was excavated from the buried stream of 4C grid. It was belong to between the middle and the beginning of latter of the Final Jomon and was dated $790 \pm 15 \sim 25$ cal BC by radiocarbon dating.

Furthermore, a human bone was excavated from the abandonment deposit of the latter of the Final Jomon in 4D grid, and we were possible to sample the gelatin collagen from it for AMS dating. It was dated 3210-3080 cal BP. This archaeological datum was an interesting result. However, allowing for the imperfect remainder of collagen, there is necessity for careful treating the datum.